

# COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

04 March, 2009

## IN THE HEADLINES



欧州連合および  
欧州新興国

先週末の緊急EUサミットにおける、欧州新興国の協同行動の成果は予想通り殆ど得られなかった。ハンガリー首相の提案したUSD1,800億ドルの支援パッケージは殆ど支持を得られなかったが、それはEU主導国、とりわけドイツが、初めに多額の見せ金が必要とすることのない、ケース・バイ・ケースの取り組みを選好したからである。また、比較的強力な新興経済国は、相対的に弱いと見られる他の新興経済国とは区別して欲しいとした。欧州経済復興銀行、欧州投資銀行及び世界銀行は、共同で東欧諸国の銀行を支援するUSD245億ドルのプログラムを発表した。これは必要な資金の総額には達しないものの、見込まれる対外資金不足の一助にはなるだろう。



インド

国政選挙は4月16日から5月13日にかけて5段階に分けて実施されることが今週発表された。これは、80万箇所を超す投票所と潜在的には714百万票が関わる大掛かりな作業になる。選挙活動(期間)にはある程度の暴動はあるだろう。相対的に小さい、地方の政党は善戦するだろうが、与党インド国民会議(Congress)乃至は野党インド人民党(BJP)が再度、不安定な連立政権を率いていくことになるだろう。こうした状況は大抵、経済改革と政策実施にとっては良いものではない。選挙戦では安全保障問題(テロ対策、パキスタン)と経済(2008-09年度第3四半期のGDP成長率は前年同期比5.3%であり、2003年以降最低の水準)が議論の中心になることだろう。



エルサルバドル

世論調査によれば、3月15日の大統領選は接戦となることが示唆されている。長い間先頭走者であった左派FMLN(ファラブンドマルチ民族解放戦線)の候補マウリシオ・フネスが恐らく先頭を維持するであろうが、彼のライバルであるロドリゴ・アヴィロ(国民共和同盟(ARENA)、右派)は、他の候補が撤退してからフネス氏との差を縮めつつある。1992年に内戦が終結して以来、元はゲリラグループから結成されたFMLNは過去3度の選挙戦でARENAに敗北しているが、今回の候補はゲリラの過去はなく、左-中道派と見られていることから支持を受けるだろう。しかし、フネス氏が勝利した場合には穏健・中道派にとどまるか、過激左派に進路を変えていくか否かについては今後を見ていく必要がある。



ギニアビサウ

月曜日のピエイラ大統領の暗殺は、軍部司令官のナワイ参謀長の爆死に対する復讐行動と見られている。最近の政府と軍部は緊迫したものとなっているが、軍部はクーデターを否定している。よって、憲法での規定に則り、次期大統領が選出されるまでの間は国会の議長が国のリーダーとなる。地域および国際機関はこの暗殺を強く非難したが、同機関への加盟から除外したり、援助を停止(昨年のギニアやモーリタニアに対してのように)するようなことはなかった。2009年には他の政権も不安定なものとなるだろう。

## ALSO IMPORTANT---



ペルー

2008年のGDP成長率が9.9%と最高水準の成長率を記録してきたにもかかわらず、12月の経済活動指標が前年同期比4.9%と、経済成長は急激に減速している模様である。政府は民間セクターの弱気みの需要をオフセットするための財政支出策を発表し、カランザ財務大臣は、これは2009年のGDP成長にとって2-3%ポイントのプラス要因となるはずであると述べた。また、金利の引下げ余力も残っている。しかし、コモディティ価格が以前より圧倒的に低く、海外からの送金が落ち込んでいる中、経済成長率はせいぜい2%増を達成することすら困難となるだろう。財政及び経常収支は悪化するだろうが、相対的に低い公的債務と十分な外準が重要なプラス面である。



ボツワナ

先週、Debswana社(ボツワナ政府とデビアス社の間の合弁企業で世界最大のダイヤモンド会社)が4月中旬まで操業を停止し、2つの鉱山での生産を年内停止した。これは世界経済の減速がダイヤモンドの売上げにも影響していることを示している。鉱物生産はGDPの40%、輸出収入の85%(ダイヤモンドで75%)を占めるため、経済が打撃を受けることは必至である。実質GDPは2009年に2-3%縮小すると見られる(1990-2008年は平均経済成長率が6%程度であった)。財政および経常収支は(今までは大幅な黒字であったところ)赤字になるだろう。しかし、潤沢な外貨準備高が短期の流動性を供給するだろう。

## COUNTRY REVIEW SUMMARIES



ブラジル

ダ・シルバ大統領は目を見張る高い支持率を保持したが、2010年の大統領選には再選のための立候補はできない。しかし、次期政権へのスムーズな移行が行なわれるだろう。経済成長は2008年第4四半期には急ブレーキがかかり、世界景気後退の影響をフルに受けて工業生産は12月には前年同期比で12.4%減少した。当局は銀行の流動性不足を相殺するために介入し、民間セクターの債務支払を支援するために信用供給を行ってきた。潤沢な外準と堅い財政政策がシステムの安定をもたらすはずだが、更なる金利引き下げと財政目標値の緩和を行っても、2009年にはほんの僅かか、殆ど経済成長は見込めないだろう。



ルワンダ

2008年8月の議会選挙はカガメ大統領の属するルワンダ愛国戦線に圧倒的多数の議席をもたらした。この国での宗教、部族間の分裂—1994の大虐殺では90万人が死亡した—は、政府が国の統治を維持するためには慎重な対応が求められるであろう。陸地に囲まれたこの国は資源が殆ど無く、高い人口密度と輸出をコーヒーと茶に依存する経済を持っている。実質GDPは2000-08年に年平均6.4%成長したが、これは1990-99年の年平均マイナス0.1%ずつ(縮小)に続くものであった。現在の世界的な景気後退が2009年の経済成長を3-5%に抑え、経済は国際援助頼みとなるが見込まれよう。

## IN BRIEF

### 原油価格

ベンチマーク・ブレント原油は1バレル辺りUSD44ドルとなった(年初から本日までの平均はUSD45ドル/バレル、2008年の平均はUSD98.5ドル/バレル)

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.